



北海道議会議員

がんばろう
小樽・北海道

ただひろ
佐藤 禎洋

令和3年3月号

発行/佐藤禎洋 政務調査室

令和3年第1回北海道議会定例会・一般質問について質す

①新型コロナウイルス感染症対策について

本道においては、本年4月から邦船社による寄港が予定され、本道観光への期待が高まっているが、クルーズ船による集団感染が道内の寄港地で起こらないとも限らない。クルーズ船寄港地の新型コロナウイルス感染症対策について、どのように取り組んでいくのか見解を伺う。

【 北海道 】

道としては、クルーズの動向などの情報収集を図っていくとともに、開発局及び運輸局と検討の場において課題を共有し、協議会における調整が円滑に進むよう助言を行うなど、クルーズ船の寄港が可能となるよう取り組む所存であります。



②藻場の整備について

ニシンをはじめ地元の期待の高いソイやハタハタ等の水産資源を増大させるためには、これまで行われてきた地域の取り組みを継続するとともに、魚類の産卵や稚魚の育成の場である祝津漁港等の藻場の整備が重要と考えますが見解を伺う。

【 北海道 】

道では、ドローンで撮影した画像から海藻の繁茂状況を把握する解析技術を開発、海藻を育てる増殖場の整備等を進めている。昆布の生育が不良な箇所において、胞子を放出する母藻の設置に支援、海藻の種苗を付着させたブロックを設置、ニシン等の産卵と稚魚の生育の場の確保など良好な生育環境と資源の増大につながる藻場の整備を計画的に進めて参ります。



③全国豊かな海づくり大会について

本大会の開催は、近年の主要魚類の生産減少に伴う漁業生産額の低迷に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により単価が下落し厳しい経営を強いられている本道漁業関係者にとって、大変意義のあるものとする考えか、伺う。



【 北海道 】

道では、道内外から参加される方々に、豊かな自然や文化、新鮮な水産物に代表される魅力あふれる食も楽しんで頂けるよう、来年度、「基本計画」や「大会テーマ」を決定し、計画的に準備を進める。



④胆振東部地震の被災森林の復旧について

広範囲にわたり崩壊した森林は復旧が進んでおらず、一日も早い森林の復旧に向けて迅速に取り組むべきと考える。道では、今年度中に森林復旧の指針を作成し、早期復旧に取り組むとしているが今後、復旧をどのように進めていく考えなのか、伺う。

【 北海道 】

森林の復旧に向けた指針を今年度末までに策定。道有林において率先して植林などに取り組み、町や森林組合、森林所有者の理解と協力のもと、植林の箇所等を明らかにした実施計画を来年度中にとりまとめ、苗木や労働力の確保に努め、一日も早い森林の再生が図られるよう、関係者一丸となって取り組んで参る。